



帝京大学で卒業生との情報交換会に参加

自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 白岩一陸尉）は11月12日、板橋区に所在する帝京大学で開催された「卒業生との情報交換会」において、同大学卒業生（東部方面総監部 若生三佐）の薬剤官リクルータ支援を受けて採用広報活動を実施した。

帝京大学は、創立50年を超える伝統を有し、薬剤師はもとより、教員や研究者、政策官僚、起業家など多様な分野で活躍する人材を育成しており、本交換会は同大学4年生及び5年生を対象に、多数の企業等が参加して行われた。

リクルータは自衛隊の概要や自身の経験を踏まえた自衛隊薬剤官のキャリアパスについて丁寧に説明し、同大学卒業生の強みを生かして学校のあるやユーモアを交えた軽快なトークで場を和ませつつ聴講者の関心を引き寄せた。また、今年はコロナ禍における非対面のWeb形式から久しぶりの対面形式で開催されたこともあり、会場内は説明する側と聴講する学生側双方の熱意を肌で感じられる雰囲気につながっていた。

聴講した学生からは「今回の説明会で自衛隊に薬剤関係の仕事があるのを初めて知って興味が沸いた」、「薬剤官の存在は知っていたが自衛官から直接話を聞けてとても参考になった」などの感想が聞かれ、自衛隊薬剤官に対する関心の高さが伺えた。

北地域事務所は、今後も学校側と連携して情報交換会や説明会を行い、自衛隊に対する理解と志願者の獲得を図っていくとしている。



キッズフェスティバル 働くクルマ大集合に参加！

自衛隊東京地方協力本部豊島出張所（所長 岩澤一尉）は11月17日、豊島区中池袋公園において、第1普通科連隊第2中隊の支援を受け、公益財団法人としま未来財団が主催する「キッズフェスティバル 働くクルマ大集合！」に参加した。

本イベントは、としま区民センターと芸術文化劇場の開館5周年に併せて行われ、警視庁池袋警察署、東京消防庁豊島消防署及び自衛隊がそれぞれブースを開設して特殊車両などの「働くクルマ」を展示し、街を守る仕事について来場者に周知した。

自衛隊ブースでは、高機動車、軽装甲機動車及び偵察用オートバイの装備品展示、迷彩服試着並びにVR視聴などを行った。

ファミリー層の来場者がほとんどであり、初めて見る自衛隊の車両に興味津々の様子であった。担当した第2中隊の隊員と記念撮影をしたりバイクに跨ったりと、思い思いに見て触れて、心躍る体験を楽しんだ。また、VR視聴のコーナーは小学生以下の子供たちに大人気で、何度も列に並びなおして、全ての動画を視聴する強者も現れた。豊島出張所は、今後も地域イベントでの広報活動を継続して、自衛隊の認知度向上と理解促進を図っていくとしている。

